

こんにちは 議会です!!



アケボノゾウ化石多賀標本
「国の天然記念物」に



- 補正予算を審議 2
- 予算特別委員会 3
- 6月定例会 4
- 臨時会 5
- 総務常任委員会 6
- 産業建設常任委員会 7
- 町政を問う(9人が一般質問) 8
- 意見交換会 13
- 地域おこし協力隊 14

補正予算1億3333万円増額を審議・可決

子育て世帯支援、非課税世帯臨時給付金など



新型コロナウイルス
ワクチン接種会場
多賀町
426万円



非課税世帯臨時特別
給付金
331万円



子育て世帯生活支援
特別給付金
998万円



(仮称)結いの森公園
整備工事費
4253万円



役場1階トイレ
改修工事
3040万円

予算特別委員会

6/14

| おもな予算項目 | (万円) |
|-----------------------|------|
| 子育て世帯生活支援 特別給付金ほか | 1329 |
| 役場1階トイレ改修工事 | 3040 |
| (仮称)結いの森公園整備工事費 | 4253 |
| あけぼのパークなどの雪害修繕 | 314 |
| 公用車購入(2台) | 710 |
| 学校などの施設維持補修 | 678 |
| 林道御池線復旧工事 | 381 |
| 災害に強い森林づくり事業 | 165 |
| 教室内のCO2測定器 空気清浄機購入 | 315 |
| 小中学校タブレット追加購入 | 203 |

問 役場1階トイレ改修の意図と形状は
答 老朽化により、女性用座位は3基、男性用小便器3基、座位は2基、多目的トイレ1基。改修は半年を要する予定。経費については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用。

問 あけぼのパークなどの雪害補修内容は
答 図書館の樋破損、屋根瓦修繕。
● 博物館アンテナ設備修繕。
● 滝の宮スポーツ公園内グラウンドベンチの破損。
各施設共に、雪害雨漏れ等で使用に支障をきたすため。

問 公用車購入の内容は
答 長期間使用し安全面から更新する。一台は林道などの使用が多いため、中古の軽四輪駆動車。もう一台は、町長公用車で、ワンボックスの七人乗りハイブリッド車を予定。



問 林道御池線の路肩復旧工事は
答 擁壁が崩落したため。



問 学校ほか施設維持補修は
答 ガスバルクの交換義務は20年です。ささゆり保育園や多賀小学校などが、その時期を経過する為、交換を実施する。



問 タブレット購入は
答 来年度入学生増加に伴い、不足する。半導体不足などで納入遅れが見込まれるため、今年度に購入する。



問 教室内CO2測定器・空気清浄機の購入は
答 小・中学校の新型コロナウイルス感染症予防対策として、導入する。



問 災害に強い森林づくり事業は
答 終了する県事業の追加予算で、大字小原地区の1.1haで実施する。



問 (仮称)結いの森公園の施設整備は
答 6月の「アンケート・聞き取り調査報告」をもとに、今後の入札と契約をめざす。

総務常任委員会

6/10

承認2件、議案2件を審査

国民健康保険条例の一部改正

基礎課税額および後期高齢者支援金等課税額の限度額と、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る国保税の減免期間の延長。

再度の延長は状況に応じ検討。

申請漏れは漏れないよう周知を十分に図っていきたい。

減免に対する割合は前年に対し30%減収が条件。

4年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出 219万円 追加8億7516万円

歳入歳出 219万円 追加8億7516万円

傷病手当(8人分) 139万円

見舞金(8人分) 80万円

介護保険条例の一部改正

収入減の減免期間を5年3月31日まで1年間延長。

4年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出44万円追加

総額1億2082万円

健康保険証発行に伴う事務 14万円

コロナウイルス感染症による傷病見舞金(3人) 30万円

負担割合は現役並みの所得の方は3割、今まで1割の方は2割。

後期高齢者は何人が1324人。

保険証が8月で変わり、再度10月に変わる。混乱するのではないかと色を変え対応する。

閉会中の調査

5/19

教育委員会所管

多賀小学校タブレットを使用した授業と英語教育を参観。

英語教育では、5・6年生は週2時間、3・4年生は週1時間、1・2年生は年間13時間程度。タブレットで野外での植物の成長記録などの活用をしている。

教育長から教育方針時代に合ったICTを使った教育と言の葉教育を進めている。

学校教育課長

コロナ対策として、消毒換気行事の見直し等感染対策に努めている。ALTによる遊びの中の英語教育。タブレットを使って情報障害が子供教育について

一人ひとりに合わせた教育と特別支援学校と双方に学籍が置ける(復籍制度)ようになった。

教育総務課長

3園について年長組に30分程度英語教育。保育士の研修と、手書き記録からデジタル化による保育士の負担軽減。小学校367人、児童の増加により、4年度は3年生3クラス、3年後には全学年3クラスになる。

学校施設の老朽化対策について、築50年が経過、今後10年間計画的に進める。

生涯学習課長

学童保育について、外部委託8人、直契約4人で運営。中央公民館の利用状況は行政関係が増加、ふれ

あいの郷がコロナワクチンの接種会場になり増加と産根市の施設閉鎖が要因と思われる。他市町の有料施設も増加傾向。

文化協会の活動は休止などで減少。新しくほつとコミュニティ講座を6講座開催。

文化財保護事業では、文化財保存計画の準備ほか5事業。文化財保存整備事業に対し原則国50%補助。

国の天然記念物になった「アケボノゾウ化石多賀標本」の発信と今後の活用について

研究調査・教育普及・まちづくりの3点から地域ぐるみで進める。標本をもとに、実物大のダンボール展示キットを作成、出前講座で組み立てる。

産業建設常任委員会

5/18

閉会中の調査

地域整備課所管

4年度、単独土木事業、県事業の道路関係、河川・砂防関係、芹谷地域振興事業、企業会計の上水道、下水道事業、湖東土木事務所所管土木事業の調査をしました。

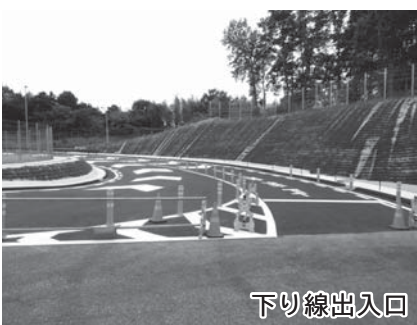
スマートインターの進捗は

上り線側は用地買収を終え本工事に向けた諸課題を対応中(三角地他)。下り線側は出入口の舗装工事も完了し今後は遠隔操作での開閉パー設備に着手。

スマートインターの進捗は

上り線側は用地買収を終え本工事に向けた諸課題を対応中(三角地他)。下り線側は出入口の舗装工事も完了し今後は遠隔操作での開閉パー設備に着手。

下り線の出口のアクセス道路標示の右折専用について



計画ではセンターライン上にラバーポールを設置し、車は左折出来ない交差点になる。(物理的に左折出来ない構造になる。)

芹川護岸左岸改修事業の計画は

芹川頭首工より上流部の100mを実施。秋頃までに工事発注。

多賀スマートインター 下り線側工事は順調

| 4年度地域整備課 所管事業 | | |
|---------------|------|---------------------------|
| 道路 | 継続 | 多賀SICアクセス道路上り線案内標識設置工事 |
| | 継続 | 多賀SICアクセス道路下り線舗装、交通安全施設工事 |
| 改良 | 新規 | 月之木地先 5差路交差点改良 |
| | 新規 | 川相 県道取付部交差点改良 |
| 舗装 | 新規 | 榑崎4号線 横断側溝新設工事 |
| | 新規 | 尼子地先 側溝改良工事 |
| 通学路 | 新規 | 敏満寺本線 舗装補修工事 |
| | 新規 | 土田東出地蔵芹川線 舗装補修 |
| 交通安全 | 新規 | 敏満寺 グリーンベルト、路面標示 |
| | 新規 | 月之木 グリーンベルト、路面標示 |
| 急傾斜 | 新規 | 久徳・月之木・中川原 区画線、路面標示、道路標識他 |
| | 継続 | 萱原 落石対策工事(第1工区) |
| 地籍調査 | 継続 | 多賀境界立会、梨ノ木地籍図閲覧 |
| | 県事業 | 306号、307号補助道路整備事業 |
| 水道 | 敏満寺 | 用地補償、試掘調査、改良工事 |
| | 佐目 | 下水道移設補償 |
| 下水道 | 樋田 | 多賀永源寺線単独道路改築事業 |
| | | 路線測量 |
| 上水道 | | 多賀醒井線補助道路整備事業 |
| | 久徳 | 多賀醒井線ルート再検討・地元協議 |
| 下水道 | 栗栖 | 補助道路整備(栗栖4工区)境界確定 |
| | 水谷 | 落石対策(道路整備は完了) |
| 下水道 | 河内 | 工事継続(中村) |
| | | 地元協議調整(下村) |
| 下水道 | | 転回場工事(宮前) |
| | 多賀 | 若宮団地配水管布設替工事 |
| 下水道 | 榑崎 | 配水管布設替工事(第2工区) |
| | 多賀 | 配水管移設工事(157m) |
| 下水道 | 佐目 | 配水管移設工事(11m) |
| | 土田 | 水源地場内舗装等整備工事 |
| 下水道 | 大君ヶ畑 | 浄水場整備工事(ネットフェンス) |
| | 中川原 | 雨水排水整備工事 |

注)SIC スマートインターチェンジ

9人が一般質問 町政を問う

一般質問って?

議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

| 質問事項 | ページ |
|---|-----|
| ■ 神細工 宗宏 9 ◎大滝小学校の小規模特認校化を ○小規模農地の獣害対策事業補助金の増額は | 9 |
| ■ 近藤 勇 9 ◎獣害対策のその後の状況は | 9 |
| ■ 山口 久男 10 ◎子育て支援は ○特別障がい者手当は ○スポーツ施策は | 10 |
| ■ 竹内 薫 10 ◎林業振興の今後は ○学生(大学・高校他)とのネットワーク化を | 10 |
| ■ 富永 勉 11 ◎大滝小学校の今後は ○多賀町がんばる商店応援補助金は | 11 |
| ■ 木下 茂樹 11 ◎山林固定資産税の将来性は ○『プラスチック資源循環促進法』の対応は | 11 |
| ■ 清水 登久子 12 ◎町内のヤングケアラーの実態は ○町内店舗への消毒液の無料配布を | 12 |
| ■ 大橋 富造 12 ◎当町の官製談合のその後は ○出生数減少の対策は ○雪害に伴う事故防止対策は ○体育すわりについて | 12 |
| ■ 川添 武史 13 ◎通学路の安全対策は | 13 |

(注)○印の内容は掲載しておりません。



大滝小学校の小規模特認校化を 学区の人口増加が必要

教育長

学校は地域のコミュニティの中心であり、なくなる過疎化が進む。このままではいずれ廃校になるかもしれない。少子高齢化、過疎地域において、児童を増やす方法として特認校がある。学区外から児童を呼び込み統合を食い止め、廃校となる前に手を打つべきと思う。

問 ① 小規模特認校化についての考えは

② 小規模特認校を成功させるため人口増加が必要。民間での宅地造成は見込めないが、官民共同で安価な宅地造成をテストモデルとして計画していく考えは

現在、保護者の申し出により教育委員会が認めた場合、校区外通学が可能であり柔軟に対応する。

学区制度を取らず、学区外の児童を受け入れる態勢の整った学校を言う。

企画課長

② 民間事業者にとって、宅地造成をしても販売につながらなければ利益が出ずリスクを負う。行政も同様で官民共同の宅地造成は考えていないが、民間事業者から問い合わせ相談があれば対応大滝地域に住みたい、子育てをしたいと思われる取り組みを進める。

この制度は一時的な増加策であり抜本的な解決策にはならない。大滝学区区の人口増加が最も必要である。



獣害対策のその後の状況は 八重練群で85頭の捕獲が完了

近藤 勇

2年9月の定例会において獣害対策についての一般質問をしたが、その後の状況について、再度、質問をする。

問 ① 多賀F1群(八重練群)の個体数調整を計画しているとの答弁であったが、実施後の効果は

② 現在のサルの生息数、生息状況は。
また、今後の個体数調整の計画は

③ ロケット花火、爆竹に替わる対策は

④ 「生息環境の管理と獣害防止対策の両立が必須」と答弁された。
生息環境の管理で、「森の餌場の価値を上げる」とあったが、取り組みの現状は

⑤ 「里の餌場の価値を下げる」との答弁であったが、地域住民への周知・理解を求める取り組みの状況は

産業環境課長

① 群れの総数は124頭で、その内、繁殖可能なメスは40頭程度と把握している。5月16日から本格的な捕獲を開始し、現在85頭の捕獲が完了した。継続して個体数調整を進める。

② 当町に生息する群れは13群で、416頭生息していると推定される。八重練群の個体数調整を成功させ、随時、他の群れについても進めていきたい。

③ 猟友会、集落と町を含めた三者で連携し新たな施策の確立をめざす。

④ 治山事業、林業の振興を考え、針葉樹から広葉樹への樹種転換、間伐を推進し、陽光が差し込み、下層植生が生え山の機能が発揮される取り組みを行っている。

⑤ 四手区と八重練区をモデル地区とし、地域と行政が連携し、獣害対策に取り組んでいる。

子育て支援は 子育て対策・教育の優先度から判断



山口 久男

中学卒業まで医療費の無償化、赤ちゃんの紙おむつ・粉ミルクの助成。小中学校入学時のランリユック・スポーツバッグの支援などが実施され「子育てしやすい町」との評価はあるが、少子化・人口減少に歯止めをかけ、定住化を促進するため更なる子育て支援は

① 高校卒業までの医療費無償化を含む子ども医療費助成の拡充と実施に要する経費は
② 次世代育成支援事業（出産奨励祝金）の対象を第1子からの考えは
③ 国民健康保険（18歳まで）の均等割りの減免の考えは

① 恒久的な財政支出の増加を伴うもので、財政状況や情勢を踏まえ子育て対策・教育の充実の優先度から判断したい。経費の試算は3年度6歳から15歳まで年間1人当たり1・8万円。16歳から18歳まで211人で、単純計算で約380万円。その他、システム改修費が見込まれる。
② 出産奨励祝金は第3子からとなっているが、育児用品購入助成は0歳から2歳までに助成している。
第1子からは、今の段階では考えていない。
③ 全国知事会・町村会から国に対し軽減制度の創設を要望してきた。4年度から未就学児の均等割り軽減制度が開始半額軽減となった。多子世帯における保険料負担が大きくなっている財政運営上の問題もあり調査研究すべきと考えている。
国費投入の拡充を国に求めている。



大滝小学校の今後は 区域外の通学と居住促進

教育長

富永 勉

一般的に社会情勢は、少子高齢化、都市圏への人口流出などで、5割を超える市町村で過疎化地域となっているが、本町では行政の努力もあり、急激な過疎化には歯止めがかかっている。
しかし、大滝小学校では、年々、減少傾向にあり、存続自体心配である。行政は、少人数の良さ、丁寧な学習、自然を生かした環境など、取り組みがされている。

① 大滝小学校の特色、魅力は
② 大滝小学校を存続するための取り組みは
③ 大滝小学校の今後は

① 大滝小学校は、豊かな自然の中に立地した学校であり、自然環境や地域資源を生かした全校ウォークラリーやイワナ給食、大滝小まつり、学校林体験など、特色ある取り組みを進めている。児童数は多くないが、地域が学校活動に積極的にかかわり、地域と共にある学校と認識している。
② 存続するためには、その学校に通う児童が必要である。現在本町では居住地により就学区域が定められているが、区域外からの就学を希望した場合、大滝小学校に通学することも可能となっている。
③ 多賀の子どもの学力向上に向けた取り組みの充実とともに、今後の学校教育の在り方について、本年度より、大滝小学校だけでなく、多賀小学校、多賀中学校も含め、今後の多賀町全体の学校教育について考えていく中で、大滝小学校の今後の教育の在り方についても検討していく。



林業振興の今後は 森林資源を循環利用・活性化につなげる

竹内 薫

産業環境課長

本町の面積は約86%が森林である。

① 平成24年8月、森林循環システム構築に関するワーキンググループが結成された。

地元産を用いた公共建築を始め、集大成として中央公民館をほぼ町産材で建築するなど成果を上げてきた。

① 今日までの経緯と現状は
② 今後の取り組みと支援は

県の専門員の出向を仰ぎ協同組合の立ち上げをされた。軌道に乗るまでしばらく時間が必要と考えている。



木材土場とグラブプル



乾燥施設

② 原木の仕分け・木材加工の人材育成・商品開発・組合の自立を促し連携して取り組む。

山林固定資産税の将来は 調査・確認をし、適正に賦課していく



木下 茂樹

山林固定資産税の税額の納付者意識は徐々に変化し、所有者が土地を離れ、その子や孫も山間地への郷土意識も薄れている状況にある。
また、所有者は高齢化し、財産の処分を考えなければならぬ時期を迎え、山間地在住者でも、所有山林の場所を把握できない人も多い。
山林所有者の意識調査を実施し、「境界明確化事業」を早急に進める必要がある。

産業環境課長

① 山林などの後継者不確定林は
② 山林などの意識調査は
③ 「山林買い取り」制度の可能性は
④ 大滝山林組合の活用

① 山林だけのなく、農地や家屋の相続放棄や所有者不明が増加している。
② 現状で意識調査を実施すると多くの混乱が生じると思われる。境界明確化事業を進めながら段階的に実施していく。
③ 当町では、山林を買い取ることは考えていない。
④ 大滝山林組合は、2400haにも及ぶ広大な保有林を管理・整備し、森林の持つ公益的機能を維持し、流域の安心と安全確保にあわせ、林業の振興に寄与されている。
しかし、造林の補助の一部が受けられず、十分な施策を行うことができないことから、今年度から流域の市町で林業整備に対し、一定の費用負担をすることとなっている。

町内のヤングケアラーの実態は 町内では、疑いを含め数件か



清水 登久子

県社協が、小中高校を対象に実施した実態調査結果によると、ヤングケアラーがいると回答した学校は49・8%、中学校では66・3%と高い割合になっている。ケアの対象は、兄弟・父母・祖母と回答されている。

問 ① 当町のケアラーの実態把握と対応は
② 厚労省、学校自治体が連携支援するためのマニュアルを公表されているが、把握しているか。今後の活用は

福祉保健課長

答 ① 当町でのケアラーについては、疑いがあるケースを含め、数件であろうという程度の把握である。
ケアラーという言葉の定義が関係者の中でも共通理解が十分得られていない中、把握には課題があると認識している。支援が必要なケースに

ついては、学校と子ども家庭応援センターおよび福祉保健課で検討の場を持ち、支援の方向性や役割分担を話し合い、必要に応じては湖東福祉事務所等と連携を図り、対応してきた。

しかし、ケアラーであることは、本人も周囲の大人も気づきにくく表面化せず、必要な支援に繋がりにくいという課題がある。今後、そのような子ども達を早期に把握し、福祉・教育・地域など関係機関等で協議検討し、適切な支援に繋がられるよう、要保護児童対策地域協議会等との連携強化にも努めていきたいと考えている。

② 子ども家庭応援センター、学校、保育園、幼稚園、民児協においても周知を図り早期発見に繋げていく。

通学路の安全対策は 重点的に検証していく



川添 史

新学期が始まり、この時期になると3年前の大津市で発生した園児の死亡事故が思い出される。また10年前には京都府亀岡市で発生した無免許の少年が運転する乗用車が、登校中の児童の列に突っ込み多くの死傷者が出るといふ大変痛ましい事故もあった。

これらの事故を契機に通学路の安全点検がなされ、当町でも平成26年10月に「通学路安全推進会議」が発足し定期的に小中学校の通学路の安全点検がされているが、同僚議員からも昨年9月定例会の一般質問でも、月之木地先の安全対策について取り上げられた。

当時の答弁では「危険な箇所が存在しているため早急に対策を検討し、できることから実施したい」との答弁だったと記憶している。

一番危惧している通学路は、多賀福祉会館裏の

都計道路の感応式信号のある交差点で柏葉グリーンヒル団地、月之木、川原、土田、久徳、木曾地域の児童が信号待ちの時には集中し、非常に危険な交差点で、事故を未然に防ぐためにも迅速な対応が必要と判断する。

問 これからの町をにう児童の尊い命を守る対策を早急にとっていたきたい

町長

多くの児童が道路を横断する箇所となっていることは認識している。現地には感応式信号および歩行者用信号のほか、県道の両側に広い歩道もあり、横断者の待避スペースが確保できていることなどから、要対策箇所としての指摘もなく、対策の優先度は低いと考え



大橋 富造

当町の官製談合のその後は 高い倫理観・使命感をもって正に職務を遂行

は報告されていない。

③ 5年4月から設置予定でそれまでの間は役場内に設置する。

④ 昨年11月から電子入札とあわせて、条件付き一般競争入札を基本とする

ことで改善を図る。監視体制については本年度より入札監視委員会を設置し、4年執行分から入札、契約手続きの内容の確認をしていただいている。

⑤ 個人の問題にすることなく、組織の問題として捉えることがスタートであり、他の市町の報告書からも参考にした。

④ 入札制度の改善と監視強化策の進捗は
⑤ 県内でも同様の事件が発生しているが

町長

① 一般競争入札導入
・入札監視委員会設置
・外部、内部公益通報対応の整備
・公務員倫理、コンプライアンスの推進が主
② 第三者委員会である検証会議でもその事実



報告書

意見交換会

6月27日午後1時30分から、多賀町役場3階、第一委員会室において「多賀町手をつなぐ育成会」の皆さんと、意見交換会を開催しました。

多賀町手をつなぐ育成会

6/27

何が一番の課題ですか

・親が高齢化しており、親亡き後の本人が、安心して安全に楽しく暮らせる環境、グループホームなどが出来ないか。
・知的障がいと言うものが、どのようなものかを理解していただきたい。脳の一部に障がいがあり、その障がいの場所により、さまざまな症状がある。知的障がい者にも個性があり、一人ひとりの個性に合わせた対応が必要なる事を理解していただきたい。

総括

色々なご意見を聞く事ができた。今後の議会活動に活かしていきたい。

どのような会ですか

知的障がいを持つ16名の正規会員で構成。朝から夕方までを杉の子作業所、あすなろ作業



山間地域の活性化

地域おこし協力隊の活動紹介 No.1

今年度の議会広報は、地域おこし協力隊の活動について、4回の連載とさせていただきます。

私は多賀町大滝地域を中心に活動している朝比奈遥です。

今年の4月に着任し、

五感で季節の移り変わりを感ぜられ、とても素敵などころで生活できることをうれしく思います。どのような活動をしているのか、今後の予定などをこの広報で、紹介していきます。

給食弁当

「大滝小学校の美味しい給食を、みんなに味わってもらいたい」という想いから、大滝小学校の給食メニューを参考にしたお弁当作り・販売を地域の皆さんの協力も得なが



地域の方との調理風景

ら行っています。

これまで3回実施し、毎回平均で100食以上の注文をいただいています。応援の声もたくさん届いており、とてもありがたいです。

現在、富之尾・大杉・

霜ヶ原・小原にお弁当販売のチラシを配布しています。「大滝の全ての地域の方にお弁当を届けられるようにしたい！」という気持ちは山々なのですが、今のスタッフの人数や体制を考えると、100食が限界となってい

ます。

今後、チラシの配布ができていない地域にも販売できるように、試行錯誤していきたいと思っています。「お弁当作りに興味がある！」という方がおられたら、役場企画課まで連絡いただけるとうれい



給食弁当

居場所作り

昨年度から、富之尾地区にある旧営林署の改修を進めています。お弁当作りができるようキッチン



旧営林署(現時点での活動拠点)

るような居場所として活用できるように整えていきたいと思っています。他にどのような活用の仕方があるのか、ぜひみなさんにも提案していただきたいです。

ふだん私は旧営林署にて、月・火・木・金曜日に仕事をしています。お気軽にお声かけください。活動の報告は、議会広報誌や他の方法で発信していますので、見ていただけたらうれしいです。

地域おこし協力隊
朝比奈 遙

議会を傍聴してみませんか？

議員や行政は、どんなまちづくりを考えているのか、直接、見て、聞くことができます。ぜひお越しください。

9月定例会の予定

- 9月 6日(火) 9:30~ 定例会開会
 - ・町長が町政報告と議案提案を行う。
- 9月 7日(水) 9:30~ 一般質問
- 9月 8日(木) 9:30~ 一般質問
 - ・議員が町政について質問します。
- 9月30日(金) 13:30~ 定例会閉会
 - ・初日に提案された議案を採決します。

※日程は、変更になる場合があります。



※座席は21席あります。(コロナ対策で制限する場合があります)

編集後記

夏真っ盛り、町民の皆さんいかがお過ごしでしょうか。熱中症対策を怠ることなく乗り切りましょう。

今、多賀町では「スマーティンターチェンジ整備工事」「都市公園の建設工事」「国道307号線の改修工事(胡宮神社までの坂の勾配を低くする)」「国道8号線バイパス工事」など、

大きな事業が進められています。多賀町議会では、「開かれた議会」をめざし、行政と共に良い多賀町をめざしてまいります。今年度から、広報委員長に神細工、副委員長に木下、委員に大橋、菅森、近藤で編集してまいります。よろしくお願いたします。

神細工 宗宏 記

発行 / 多賀町議会
編集 / 議会広報常任委員会

F 522-0341 滋賀県犬上郡多賀町大字多賀324
T 0749(48) 8126 FAX 0749(48) 8131
有線 2-2011

ホームページ <https://www.town.taga.lg.jp/>